



川西薩地区2市4町4村

川内市・串木野市・樋脇町・入来町・東郷町・祁答院町  
里村・上飯村・下飯村・鹿島村

# 任意合併協議会だより

2002  
創刊号  
平成14年10月号

発行責任者：川西薩地区任意合併協議会／会長 森 卓朗／編集：川西薩地区任意合併協議会事務局 川内市神田町3番22号 TEL.0996-23-5111 FAX.0996-22-6295 ssg@sendai-net.jp

## 任意合併協議会を設立

### 川西薩地区2市4町4村



任意合併協議会の設立総会（上）  
と協議会第1回会議（左）

川内市、串木野市、樋脇町、入来町、東郷町、祁答院町、里村、上飯村、下飯村、鹿島村の二市四町四村は十月七日、「川西薩地区任意合併協議会」を設立しました。設立総会には各市町村の首長、助役、議会議長ら約九十人が出席。会長に準備会会長を務めた森卓朗・川内市長、副会長に富永茂穂・串木野市長、黒瀬一郎・樋脇町長、原口博文・川内市議会議長をそれぞれ選出しました。

引き続き行われた第一回の会議では、平成十四年度の事業計画と予算を承認。十一月上旬に約五千六百世帯を対象に住民アンケートを実施することなどを決めました。また合併方式や新市名称の決定方法などについて、十一月八日に開く第二回会議に意見を持ち寄ることを決めました。

これまでの経過として、三月から課長級職員で構成する合併問題勉強会などを重ねた末、祁答院町以外の二市三町四村は八月に任意協議会設立準備会を発足。九月には祁答院町も加わり、今回の任意協議会発足となりました。

任意協議会では今後十二月末までに四回の会議を開催し、来年一月には法定協議会を正式発足させることをめざしています。

# 新市の将来へ 心を合わせ

## 任意合併協議会設立のごあいさつ

会長

川内市長 森 卓朗



川西薩地区任意合併協議会が発足し、協議会会長という重責を担うことになりました。今日に至るまでは二市四町四村と何回となく会議を重ね、さらには地域の将来構想に関する調査や研究、行政等の比較等を行いながら広域での枠組みについていろいろ研究・調整・協議を続けてきました。

これからは二市四町四村の皆様とともに力を合わせ、心を合わせて新市の将来構想にかかわる諸調査、アンケート調査を含めて事務事業の現況調査等も行いながら、法定協議会の設立に向けた諸協議をやつていきたいと考えております。そして来る十二月末には法定協議会にこぎつけるよう、会長として皆様のご意見を十分尊重しながらまとめていきたいと思っております。

国と地方を問わず、行財政改革の嵐の中でそれぞれ市町村行政を進めております。地方分権の時代を迎え、少子高齢化の進展と厳しさを増す財政状況の中で、行政能力の向上、行財政基盤の強化を図るため、合併は避けて通ることのできない重要課題であります。

このような中、地域住民の皆様方の福祉の向上につながり、一緒になってよかつたといわれるような都市、二十一世紀の理想的なまちづくりを目指したいと思っております。

多彩な地域の個性を生かした魅力ある地方の拠点都市が誕生するように、皆様とともに知恵を出し合い、汗をかきながら目標に向かって頑張っていく所存です。

副会長

串木野市長 富永茂穂



協議会の副会長という大役をいただきまして、それぞれの行政団体の意見調整に向けて、会長を補佐するために努力したいという気持ちは人後に落ちないと考えております。行政と住民がともに手を携え、新しいまちづくりを進めるために頑張る所存です。

副会長

樋脇町長 黒瀬 一郎



副会長という重責をいただきまして、協議会の委員や住民の皆様方のご指導、ご協力をいただきながら精一杯頑張つていきたいと思っております。二市四町四村の皆様方が最後まで揺らぐことなく、一致した考えで新しいまちづくりができますことを期待しております。

副会長

川内市議会議長 原口博文



二市四町四村の任意合併協議会副会長にご推薦いただきまして、私は議会の代表ですから、

あくまでも議会の立場を尊重し、住民のためには何が一番大切かを基本に会長を補佐し、協議会をまとめていきたいと考えております。その役目を果たすために努力していきます。

### 第一回会議の主な結果

#### ◆平成十四年度事業計画

協議会の第二回会議を十一月八日、第三回会議を十一月十八日、第四回会議を十二月二十五日に開催予定など。

#### ◆平成十四年度歳入歳出予算

歳入は協議会構成市町村負担金の計三千二百九十九万円。歳出の内訳は会議費、事務局運営費、まちづくり計画策定事業費、広報広聴事業費など。

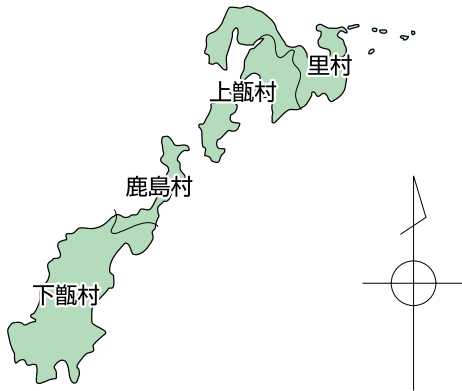
#### ◆新市将来構想住民アンケート調査

新市将来構想の策定にあたり、現在や合併後の新しいまちづくりに対する住民の意向を把握し、その結果を構想策定の参考として活用します。

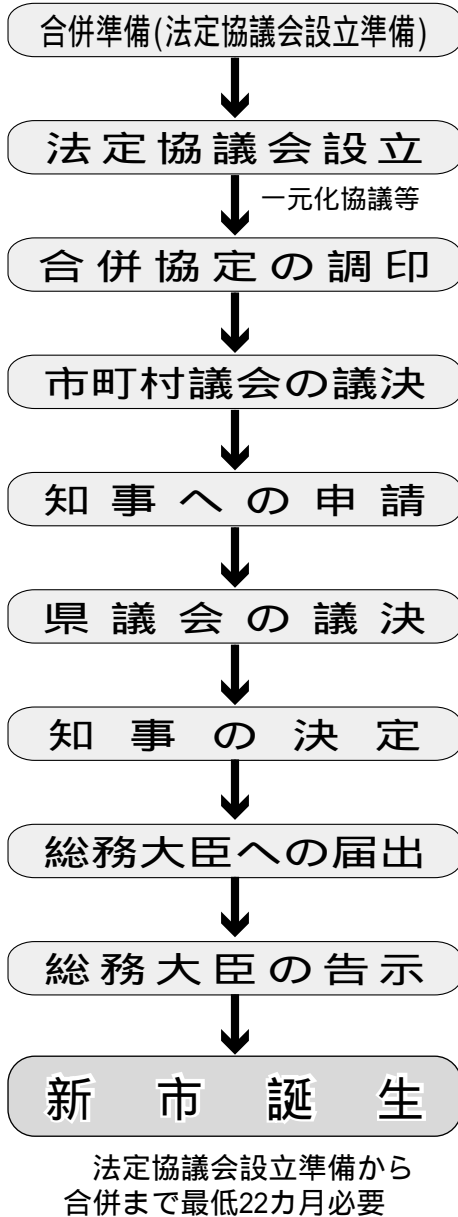
#### ◆事務事業現況調査実施

事務事業一元化調整のため、約四千項目の事務事業について、その内容、根拠条例・法律、事業費・財源内訳・職員事務量等の現況のとりまとめを行います。

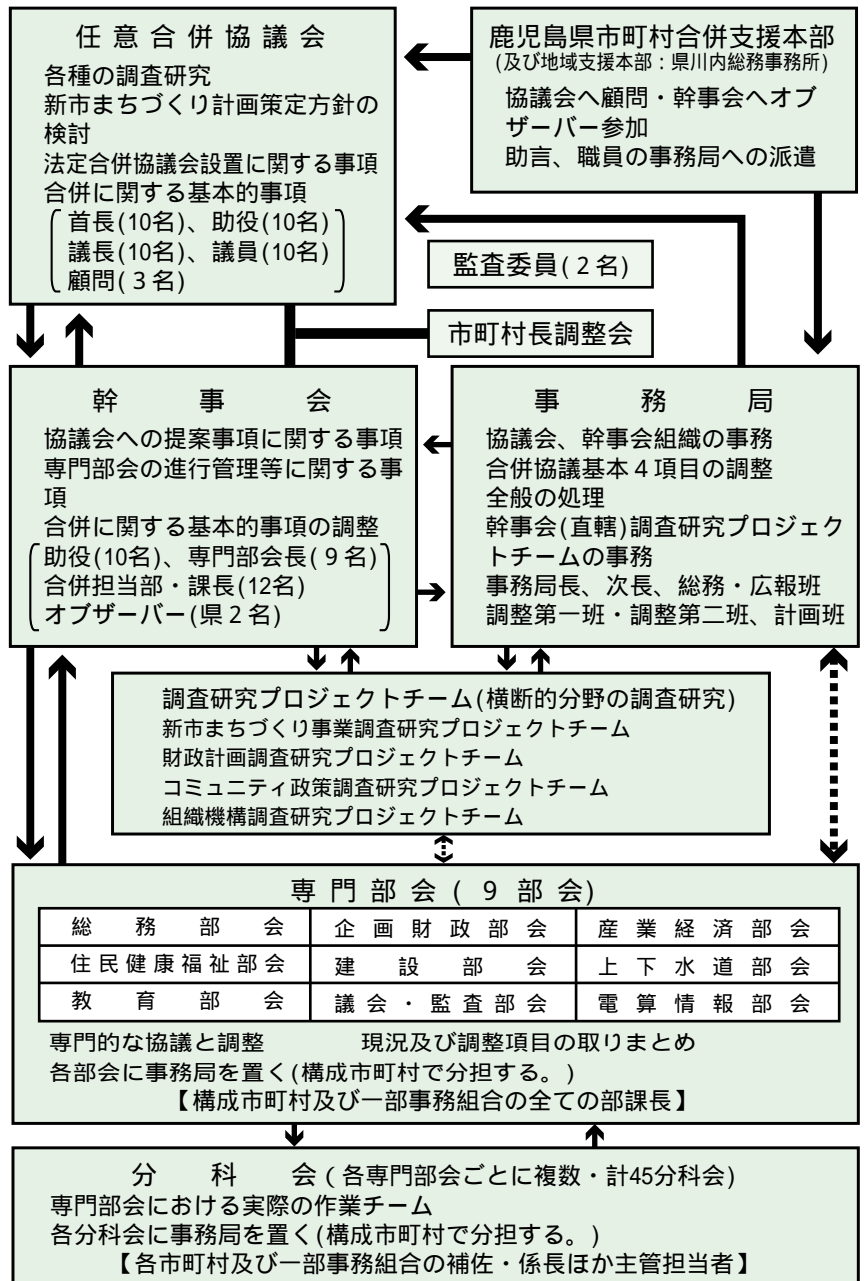
# 川西薩地区の2市4町4村



## 合併協議の主な流れ



## 川西薩地区任意合併協議会組織図



# 任意合併協議会の動き

## ◆合併担当者説明会を開催

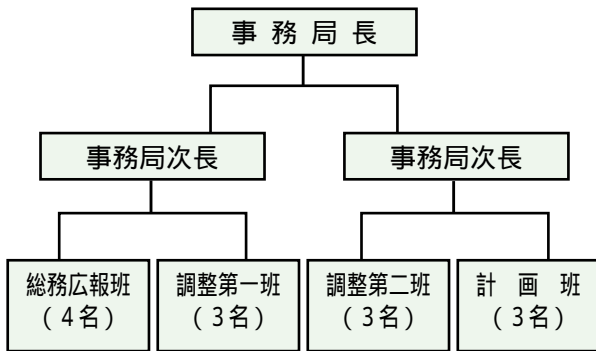
任意合併協議会の設立を受けて十月十日、川内市民会館に二市四町四村の合併担当者が集まり、合併担当者等説明会を開催しました。

説明会では、田中良二事務局長のあいさつに続いて出席者の紹介があった後、任意合併協議会事務局から、任意合併協議会設立までの経過報告、約四千項目に上る事務事業現況調査の実施要領、専門部会の運営などについて説明があり、各市町村の合併担当者らは合併までの細かな作業内容等を確認し合いました。

## ◆調査研究プロジェクトチームが作業に着手

任意合併協議会では、「新市まちづくり事業

川西薩地区任意合併協議会・事務局体制(16名)



※事務職員16名は、川内市(4名)、串木野市(3名)、樋脇町、入来町、東郷町、祁答院町、里村、上甌村、下甌村、鹿島村(各1名)及び県(1名)から派遣されています。

### ●各班の分掌事務

区分	分掌事務
各班に共通する事務	1 基本協議項目に関すること。(合併方式、期日、市名の決定方法、事務所の位置) 2 専門部会との連絡調整に関すること。
総務広報班	1 庶務及び会計に関すること。 2 協議会の会議に関すること。 3 協議会の広報・広聴に関すること。 4 国・県との連絡調整に関すること。
調整第一班 調整第二班	1 事務事業の一元化に関すること。 2 各種事務事業の調整に関すること。
計画班	1 新市将来構想及び新市まちづくり計画に関すること。 2 財政計画に関すること。 3 県事業との調整に関すること。

業」「財政計画」「コミュニティ政策」「組織機構」の四つのテーマの調査研究プロジェクトチームを設置し、このたび作業に着手しました。

合併協議会において、事務事業の調整(一元化)作業とは別に、合併後の新市の政策研究を先行して行うのは全国的にも例のない珍しい取り組みです。合併後の新市の政策のあり方を各市町村の政策担当者が早めに議論し、作業を進めることで、合併した場合の効果を最大限引き出すことをめざしています。



10月11日行われたプロジェクトチーム会議



### ●アンケートにご協力を

二市四町四村から抽出した約五千六百世帯(全世帯の一割程度)と、小学校区あるいは地区単位(鹿島村は区)の自治団体代表者を対象にアンケート調査を実施します。日ごろ、住民の皆様が住みやすさや魅力に感じていること、新市がめざすべき将来像と優先施策等についての考え方などを伺うものです。

アンケートは十一月月上旬に発送し、回収・分析後、十二月にその結果を公表します。新市の将来構想策定の参考として活用させていただきますので、皆様のご協力をお願いします。

### ●協議会会議は傍聴できます

協議会の会議は住民の方も傍聴できます。一般傍聴人の定員は三十人。会場の都合で定員の数が増減されることもあります。傍聴を希望される方は、所定の傍聴届に住所及び氏名を記入し、協議会の事務局に提出し、傍聴証の交付を受けてください。傍聴証は会議開催予定時刻の十五分前から先着順に交付。傍聴希望者が定員を超える場合はくじ引きで選ぶことになります。

### ●ホームページを開設

市町村合併に関する情報を住民の皆様

提供し、市町村合併についての判断材料としていただくため、インターネット上にホームページを十一月開設します。

合併の経過、合併スケジュール、協議会開催状況、議事録、合併Q&Aを掲載するほか、皆様のご意見やお問い合わせにも利用できるようになっていきます。ホームページのアドレスは各市町村の広報誌などでお知らせします。

### ●今後の協議会会議開催予定

協議会の第二回会議は十一月八日(金)午後一時半から串木野市の「シーサイドガーデンさのさ」、第三回会議は十八日(月)午後一時半から川内市の「おおとり荘」で開催予定です。

### ●講演会の開催予定

川西薩地区任意合併協議会では、住民の皆様にも市町村合併についての現状や課題を確認し、市町村合併のあり方について認識を深めてもらうため、「川西薩地区任意合併協議会講演会」を実施します。

日時は十二月十五日(日)午後一時半から、場所は串木野市の「シーサイドガーデンさのさ」です。入場は無料です。ふるってご参加ください。